

議会報告会で寄せられたご意見

～取組状況報告～

滝沢市議会だより第7号でもご紹介しましたが、5月24日から6月3日まで、市内13会場で実施した議会報告会では、さまざまなご意見が寄せられました。

それらのご意見を、議会でどのように取り扱っているのかについて、主なご意見の集約状況や分類をお知らせいたします。

主なご意見は、次のとおり①～⑭に分類しました。

①**防災・防犯** 「防犯灯の増設」「防災無線の整備」「交番の設置」「防犯隊の設置提案」など

②**教育** 「子どものしつけと地域の連携」「図書館の充実」など

③**伝統芸能** 「地域の伝統文化の周知」「チャグチャグ馬」「前夜祭の継続」など

④**地域づくり** 「公民館等施設の改修」「市の地域づくり担当者の配置提案」など

⑤**市の財政** 「市の財政健全化」「税収の確保」など

⑥**支所機能** 「市の支所機能強化」「支

⑦**福祉バス** 「運行時間の改善」「増便」など

⑧**地域福祉** 「障がい者受け入れ施設の拡大」など

⑨**児童福祉** 「保育施設の充実」「待機児童の解消」「児童施設の利用改善」など

⑩**高齢者福祉** 「高齢者の運動・健康」「一人暮らし高齢者への見守り」など

⑪**健康** 「市内病院マップの作成」「急病対策」など

⑫**環境** 「ゴミ集積所の不衛生問題」「ゴミの出し方のマナー違反」「悪臭問題」など

⑬**火葬場・墓地** 「設置の要望」など

⑭**除雪** 「遅い」「雑」「そもそも来ない」「除雪体制の構築を」「トラクター貸出の助成検討」「排雪場所の確保」など

⑮**道路** 「修繕・拡幅要望」「歩道の整備」「公道と私道の問題」など

⑯**公共交通** 「バスの便が悪い(少な

委員会	課題として挙げられた項目
総務教育常任委員会	①防災・防犯 ②教育 ③伝統芸能 ④地域づくり ⑤市財政 ⑥支所機能
環境厚生常任委員会	⑦福祉バス ⑧地域福祉 ⑨児童福祉 ⑩高齢者福祉 ⑪健康 ⑫環境 ⑬火葬場・墓地
産業建設常任委員会	⑭除雪 ⑮道路(歩道含む) ⑯公共交通政策 ⑰都市計画(公園含む) ⑱観光 ⑲農業 ⑳産直

各常任委員会では、このように、左表の通り各常任委員会に振り分けました。

常任委員会での議論

先①～⑭に分類した項目は、左表の通り各常任委員会に振り分けました。

「物産館での特産品の販売提案」など

調査研究から政策提言へ

特にも課題解決に向けた取組が必要と判断したものについては、具体的な解決策等を研究し、政策提言に繋げることとしています。

議会では、政策提言を通じて行政と議論を行い、より住みやすい滝沢市の実現に向けて取り組めます。

環境厚生常任委員会

⑩の児童福祉に関連するものを重点項目として位置付け、快適な道路環境の視点で、「市道維持管理事業」「市道改修事業」「市道除排雪事業」「法定外道路維持管理事業」などについて、その事業の効果等を質問しました。

また、⑯の農業振興に関連するものを重点項目として位置付け「農業担い手育成対策事業」「新規就農対策事業」などについて、その事業の効果等を質問しました。

各常任委員会では、この質疑を踏まえて自由討論も行いました。

平成27年度滝沢市議会政務活動費調べ(4～7月) (単位:円)

No.	支払先氏名	4～7月分金額	精算金額	返納金	執行率	資料購入費	広報費	計	預金等利子
1	しのめ会(4名) 代表:熊谷初男	240,000	0	240,000	0.00%			0	
2	春緑クラブ(4名) 会長:角掛邦彦	240,000	0	240,000	0.00%			0	
3	一新会(3名) 代表:長内信平	180,000	0	180,000	0.00%			0	
4	新志会(3名) 代表:高橋盛佳	180,000	177,163	2,837	98.42%	7,200	169,963	177,163	
5	日本共産党(2名) 代表:武田猛見	120,000	0	120,000	0.00%			0	15
6	柳村一	0	0	0				0	
7	相原孝彦	60,000	19,604	40,396	32.67%	19,604		19,604	
8	川原清	60,000	41,634	18,366	69.39%	9,943	31,691	41,634	3
9	斉藤健二	60,000	3,600	56,400	6.00%	3,600		3,600	
	計	1,140,000	242,001	897,999	21.23%	40,347	201,654	242,001	18

※柳村一議員は、政務活動費の申請をしていません。
※「調査研究費」「研修費」「要請陳情等活動費」「会議費」「資料作成費」「事務費」「その他」については、支出はありませんでした。

『募集』コーナー

○議会モニター

現在議会モニターは3名です。会議の傍聴などを通じて、よりよい議会運営に対する意見等をお願いしています。

○議会サポーター

現在議会サポーターは7名の登録です。議会報告会などの企画運営のほか、議会ホームページや市議会だよりの作成支援など、さまざまな支援をお願いしています。

○市議会だより掲載写真

主にメイン写真(1ページ)として掲載する写真を募集しています。


○募方法・お問い合わせ

モニター・サポーターは、それぞれ申込書があります。ホームページまたは議会事務局へご連絡ください。


○申込書は、ファクス(684・4195)またはメールにて提出してください。

現地調査


調査の必要な事業を抽出し、現地を確認して審査の参考としました。
①事業名②事業費(H26)③事業の目的等④現地での質問内容




①盛岡西リサーチパーク管理運営事業
②2,717千円
③企業集積による雇用拡大、地域の活性化や企業間連携の推進
④新たに雇用される人数の見通し



①総合公園陸上競技場改修事業
②81,931千円
③第71回国民体育大会サッカー女子競技の開催に向けて、施設改修を実施
④芝の育成に必要な散水施設及び時計表示や掲示板等の整備について




①基幹水道施設整備事業
②68,121千円
③排泥地を整備し、環境に配慮した水の安定供給を図る
④非常用発電機の設置状況及びその能力



①滝沢中央小学校建設事業
②237,531千円
③新設する小学校用地の造成工事
④工事の際の表土の問題及び工事車両の出入りルートの支障の有無




①滝沢・雫石環境組合負担金
②1,058,540千円
③ごみの適切な処理を図る
④滝沢市と雫石のごみの量の推移




①国営かんがい排水事業
②県事業
③老朽施設の全面改修による、営農活動の支援、農地保全を図る
④東日本大震災時の被害の有無




①中鶴銅上ノ山線交差点改良事業
②63,700千円
③交流拠点複合施設開設に伴う取付道路等の整備。26年度は水路・樋問工事
④交流拠点複合施設への入り口との関連性




①交流拠点複合施設整備事業
②5,626千円
③保健福祉の向上、生涯学習の推進、地域活動の支援、滝沢ブランドの発信、地域防災の強化を図る
④避難時の想定人数



①子育て支援対策臨時特例事業
②117,028千円
③保育園を新設し、待機児童の解消、園児の保育環境の向上を図る
④入所児童数の状況及び滝沢市外からの児童の受入状況



①スマートインターチェンジ整備事業
②17,959千円
③整備に係る実施設計、用地測量を実施
④工事費に係る市負担の変更の有無



①岩手県立大学周辺産業集積整備事業
②10,578千円
③企業立地の支援や地域産業の進捗を図る施設の整備
④賃料の算定根拠

◎一般会計

【反対】 日本共産党 桜井博義

市制後最初の決算となり、市政になって市民から評価される決算であるのか。また厳しい財政事情にどう取り組んだのかの視点が不可欠です。反対する点として、①子育て世帯に冷たいことです。子どもの医療費に對して、市独自の助成がありません。県内市町村で最低になっています。②市内の事業者、中小企業は依然として厳しい中、インバウンドパークも全く利用されず、費用のみが膨らんでいます。③農業は、これまでの事業を踏襲するのみで、価格補てん、後継者対策の取組に欠けています。④交流拠点複合施設は大幅に予算を上積みしての事業で、結果的に他の事業のしわ寄せになることを否定しませんでした。⑤学校で痛ましい事件が発生し、二度と繰り返さないための具体的な施策もなく、第三者委員会の経費のみで済まされています。

◎国民健康保険特別会計

【反対】 日本共産党 仲田孝行

今後は、無駄な事業の見直しなど大胆な改革も必要で、市民の安心・健康を主眼に置いた行政運営、政策実行の基となる決算と考え、賛成討論とします。

◎水道事業特別会計

【反対】 日本共産党 仲田孝行

水道料金の全国平均は10立方メートルあたり1500円、当市は1800円と2割も高くなっています。その結果経常利益が8億円余り、当期純利益が2億2000万を超えています。当事業は独立採算制のため、一定の貸倒れ引当金も必要ですが、基本的に利用者への還元、水道が引かれていない家庭への自己負担の軽減に回すべきです。

水道料金を見直し、利益を個人負担軽減、福祉の増進のために優先して使うことを求めて反対討論とします。

討論

採決の前に、賛成・反対それぞれの立場から、演説を行いました。

【賛成】 新志会 山谷仁

中期財政計画では財政力指数は0.55、経常収支比率は90.2%、経常一般財源比率93.6%、実質公債比率6.4%となり、市債残高が年々増加し、数年間は硬直した財政見通しです。

今後は、実行計画に基づくプライマリーバランスの黒字化を念頭に、市債残高の減少に努める必要があります。各事業について、普通建設事業の補助事業では、交流拠点複合施設継続事業、学童保育施設建設事業、岩手県立大学周辺産業集積整備事業、防災・減災機能施設整備事業、など大型事業に取り組み、滝沢中央小学校も2年延期になりますが、着手の目途が付いた決算と考えます。

市制元年としては財政的不安要素も印象に残り、市民の喜びが伝わってこなかった決算と考え、反対討論とします。

国保税の収納率が向上していますが、所得の低い層では滞納者が多いのも事実です。階層をみても年収100万円以下では50%の方が滞納している一方、600万円以上では滞納者がいない状況です。

26年度は国からの支援金があり、そのまま基金として積んでおり、約2億7000万円の残高です。

25年度に税額を引き上げていたことから、その必要がなかったと考えます。基金を使うなどして低所得者層を中心に税額を引き下げるべきと考え、反対討論とします。